

K1.8BR meeting 9/14

木村

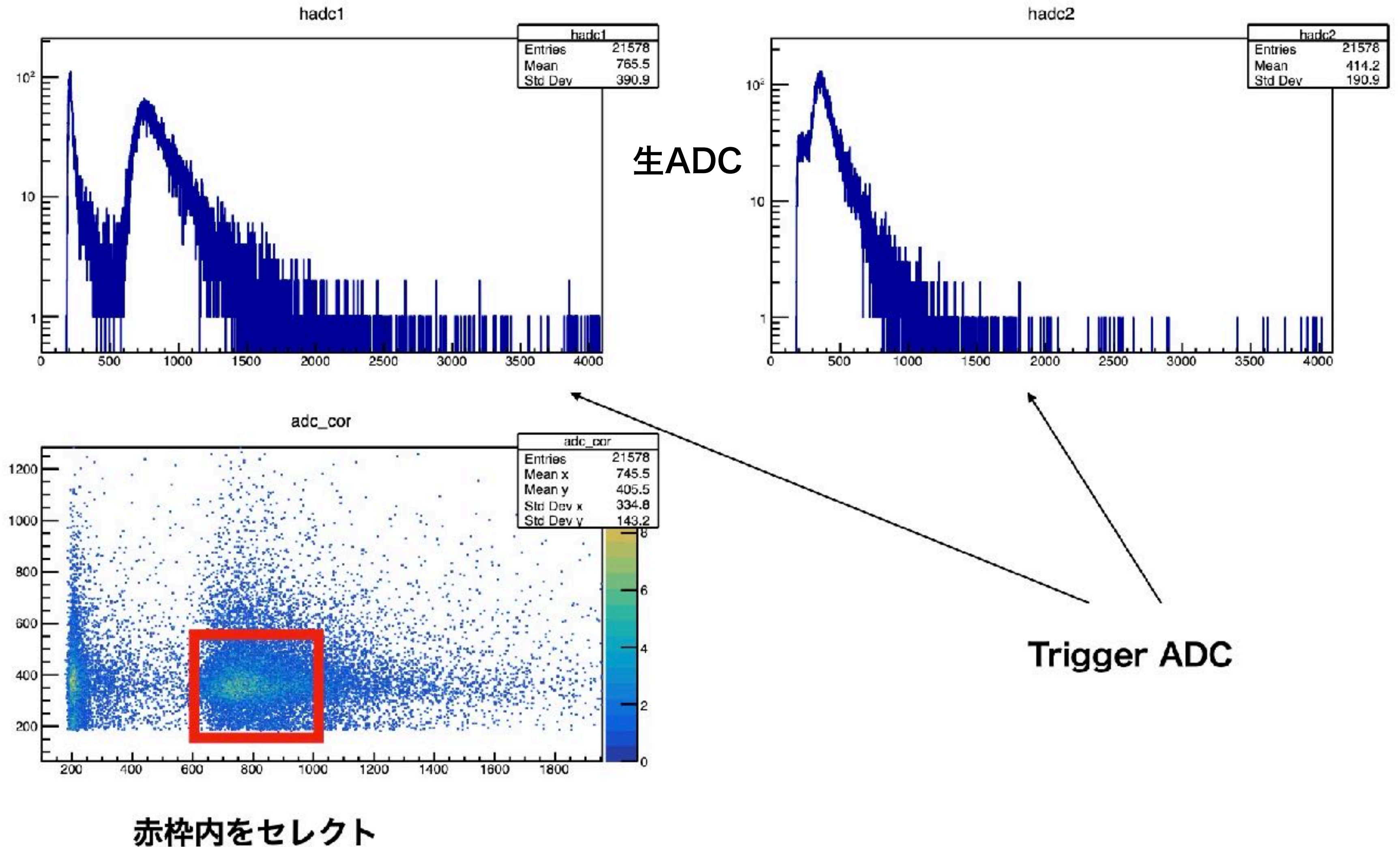
やったこと

- ① 現状のDAQでRef1,2,mppcの時間分解能がどうなるかを調査(宇宙線測定)→別の問題が発生
- ② CNCのattenuation lengthを測定するためのHV (CAEN S5527)のセットアップ(なかなか上手くいかず、1日消費)
- ③ CNCテスト実験のためのリニアガイド(スライドレール)の錆落とし

①宇宙線でDAQテスト

宇宙線 run109

	HV [V]
ch1	1699
ch2	1705
ch3	1800
ch4	1800
ch5	54 (amp=10)
ch6	54 (amp=10)
ch7	1800
ch8	1800

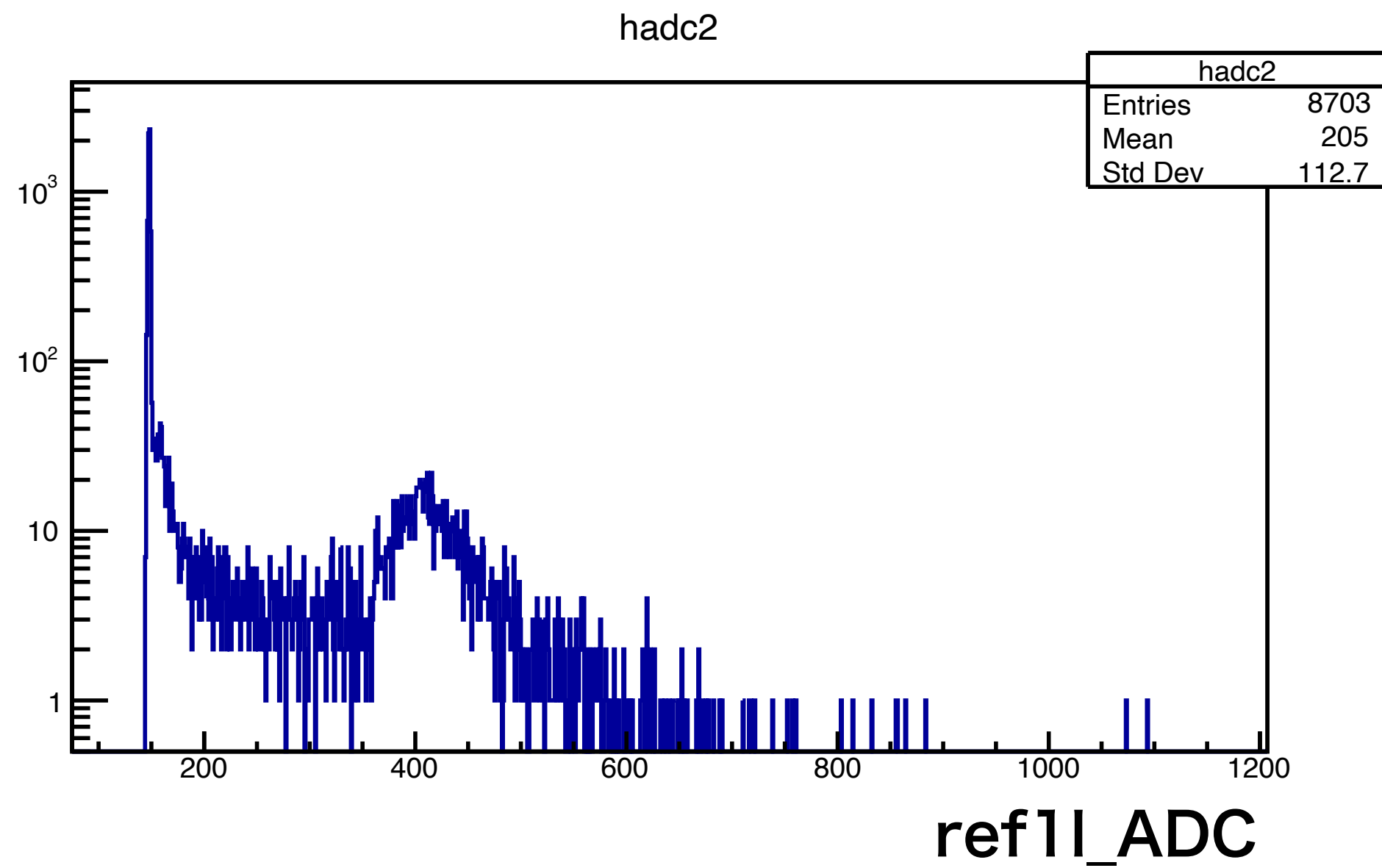
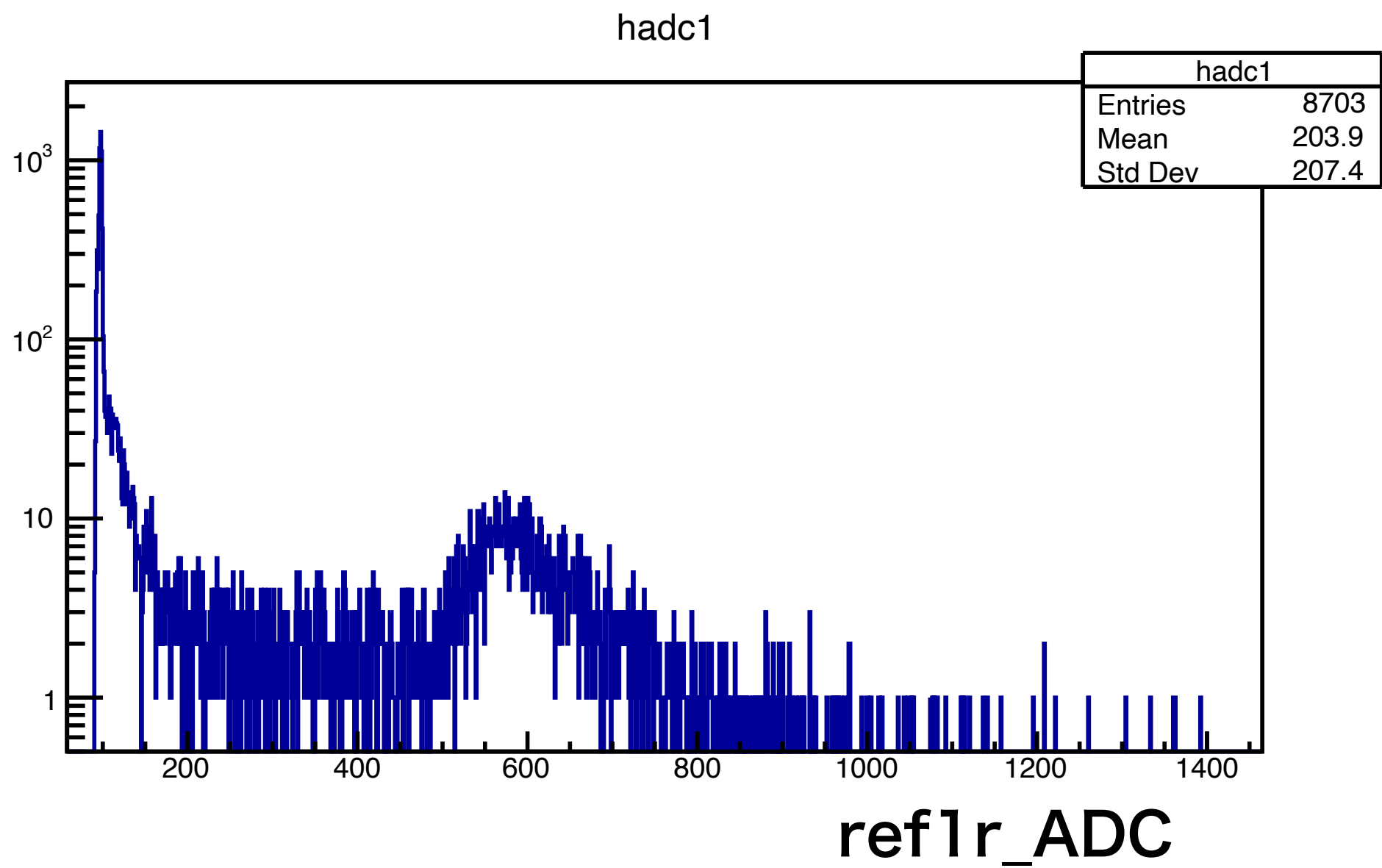
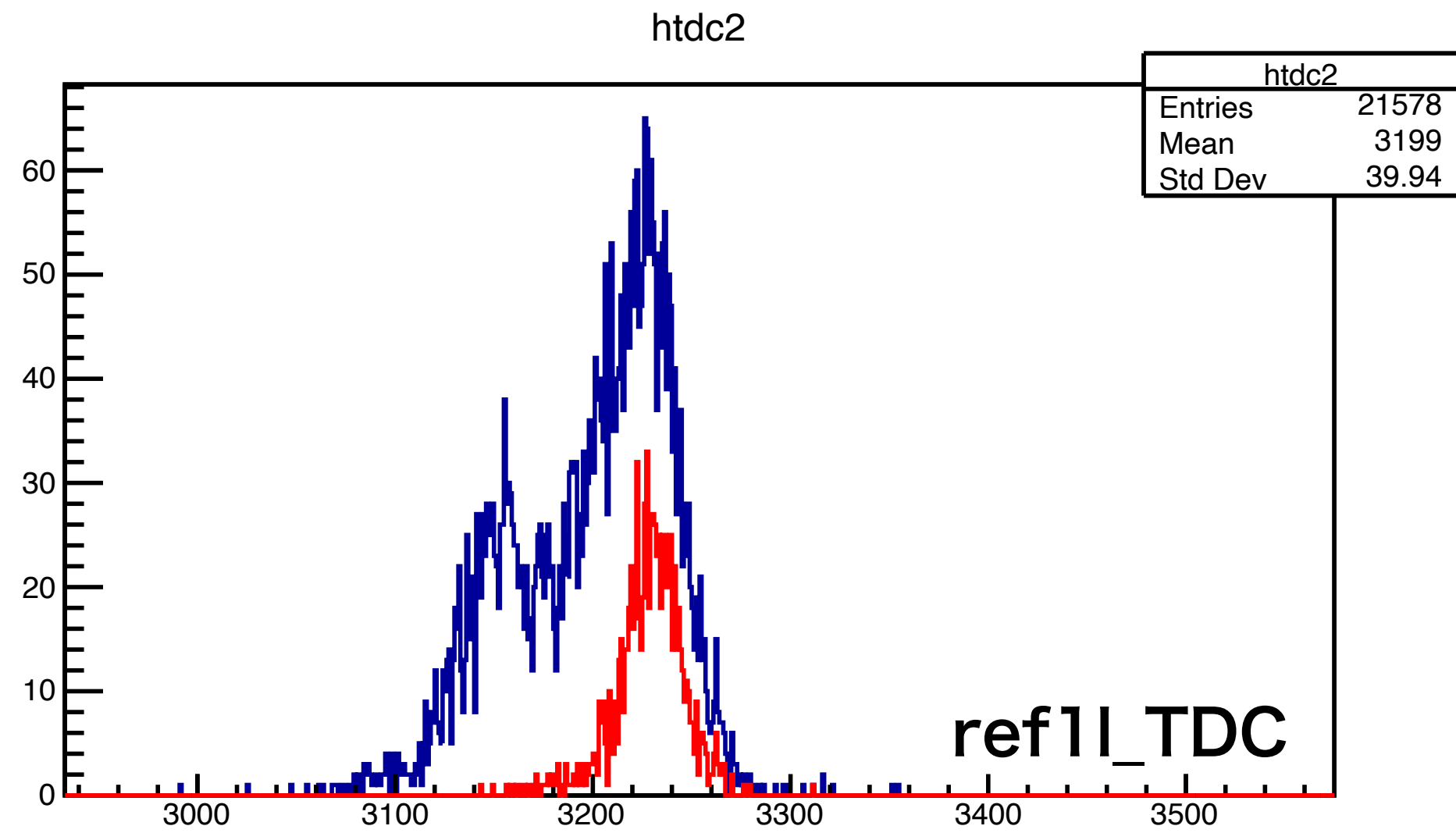
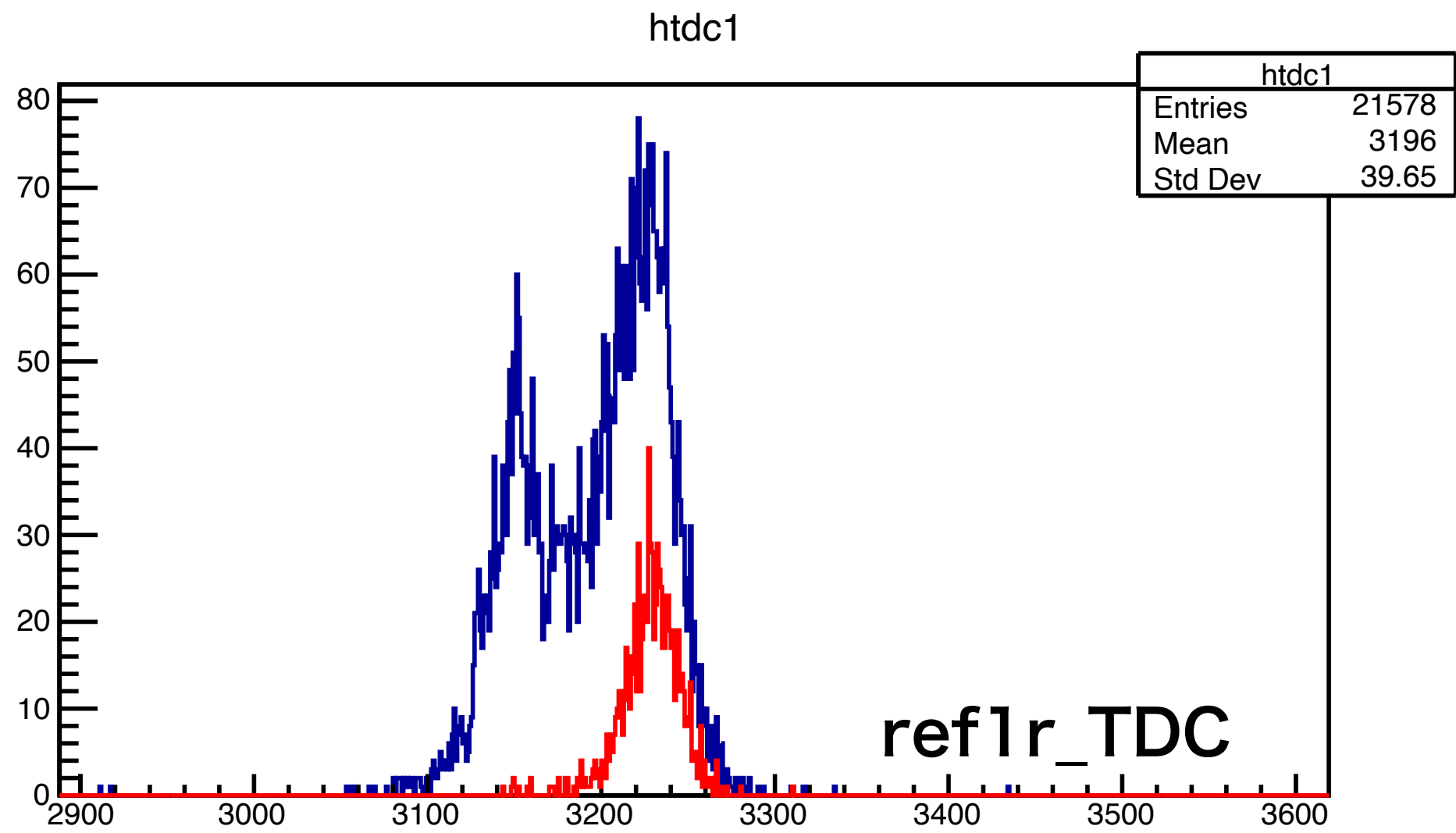


①

TDC 2ピークが謎だったが、trigger条件で消えた。

run109 ref1

青: なま
赤: trig window

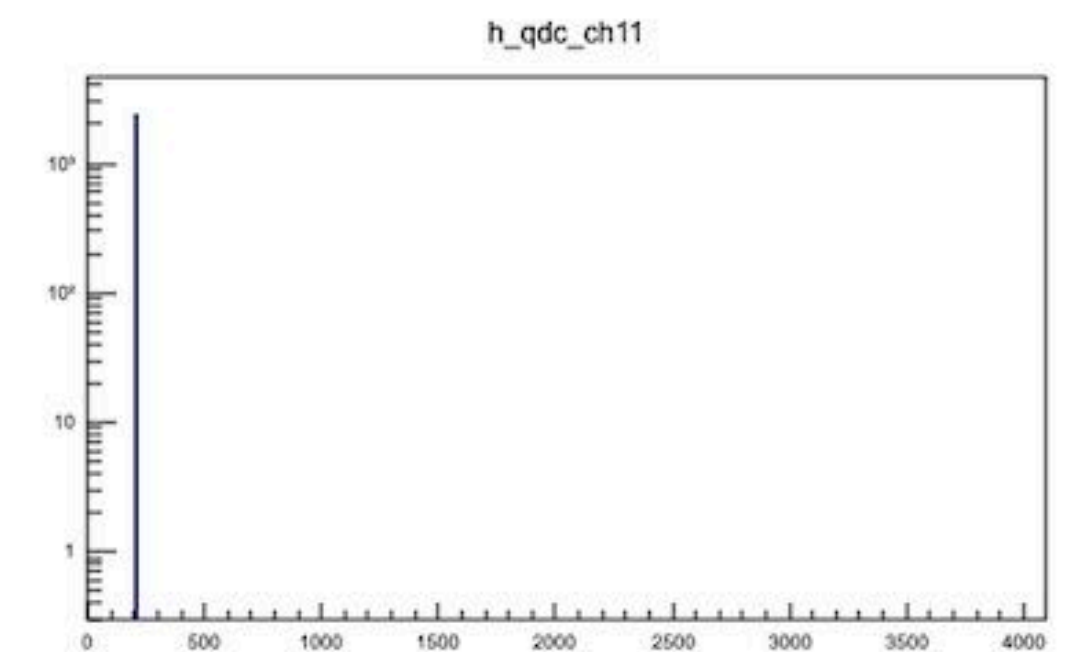
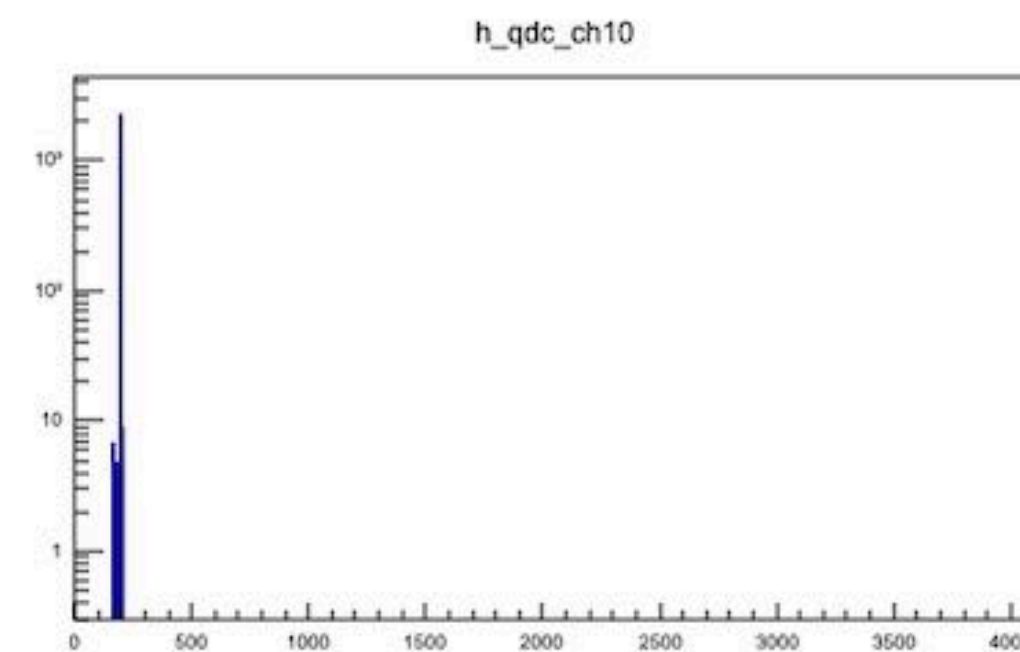
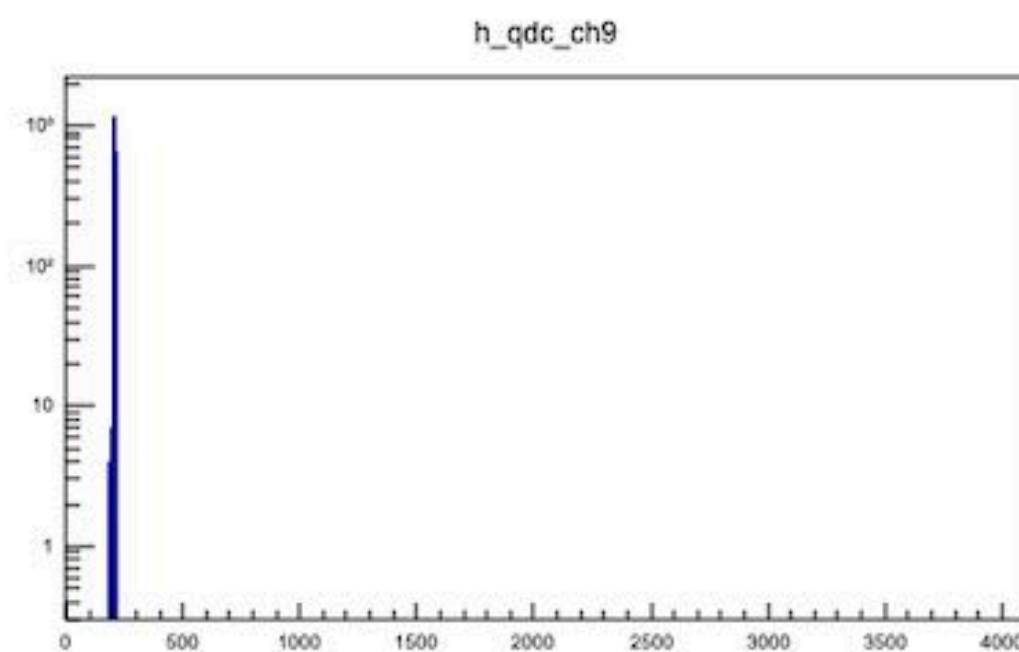
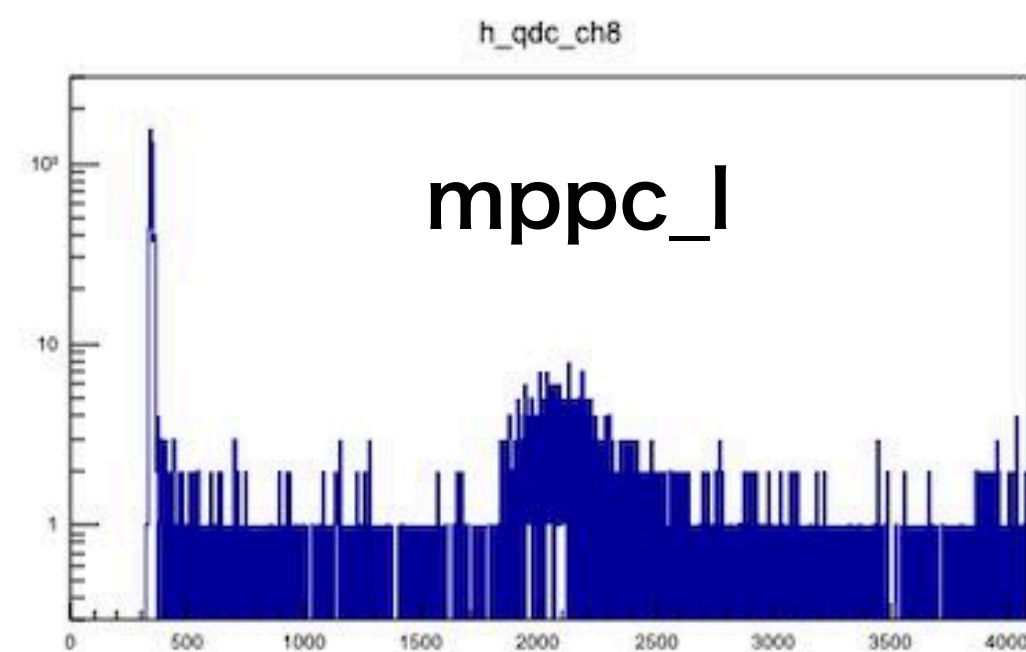
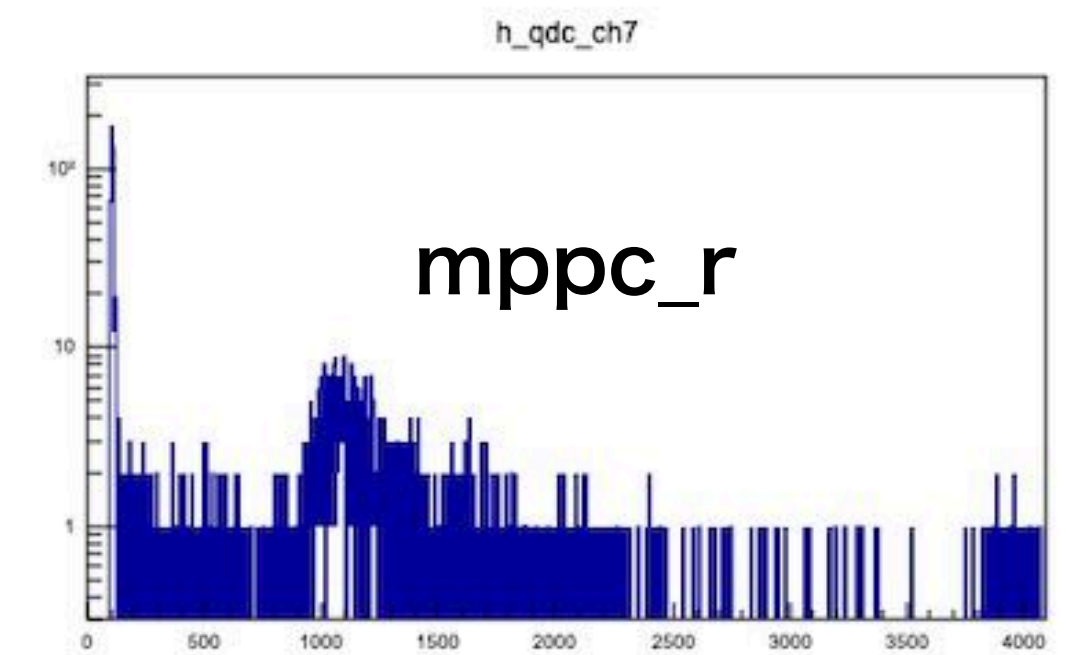
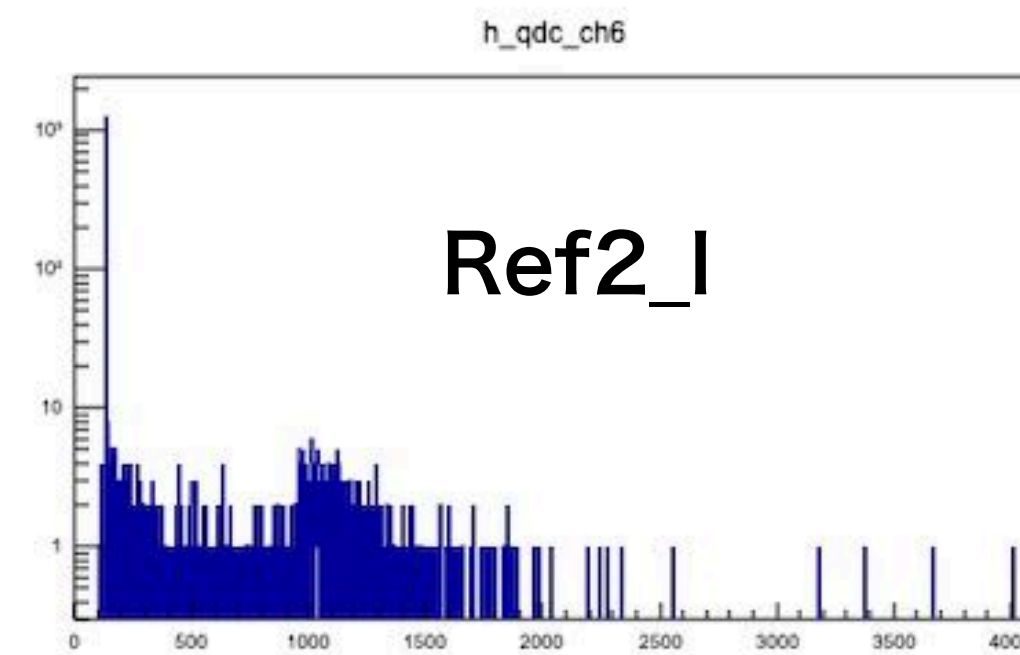
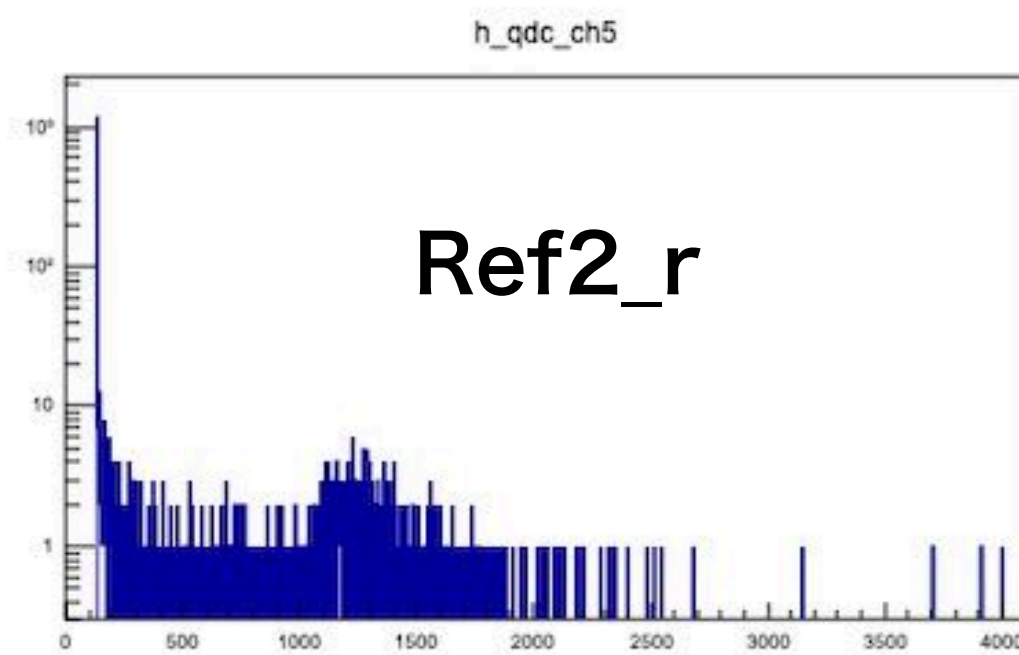
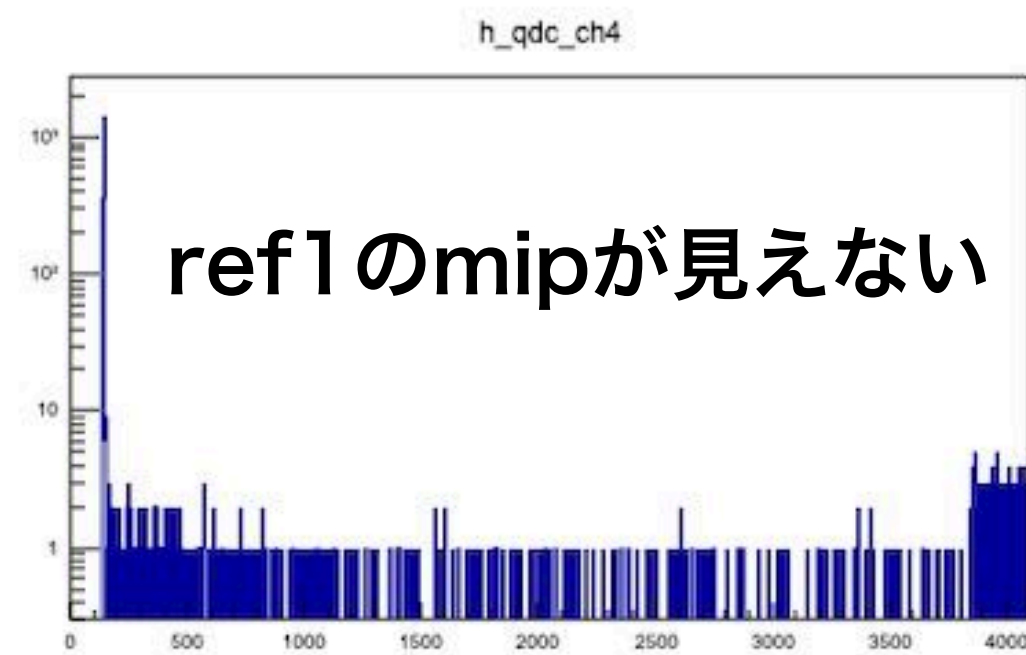
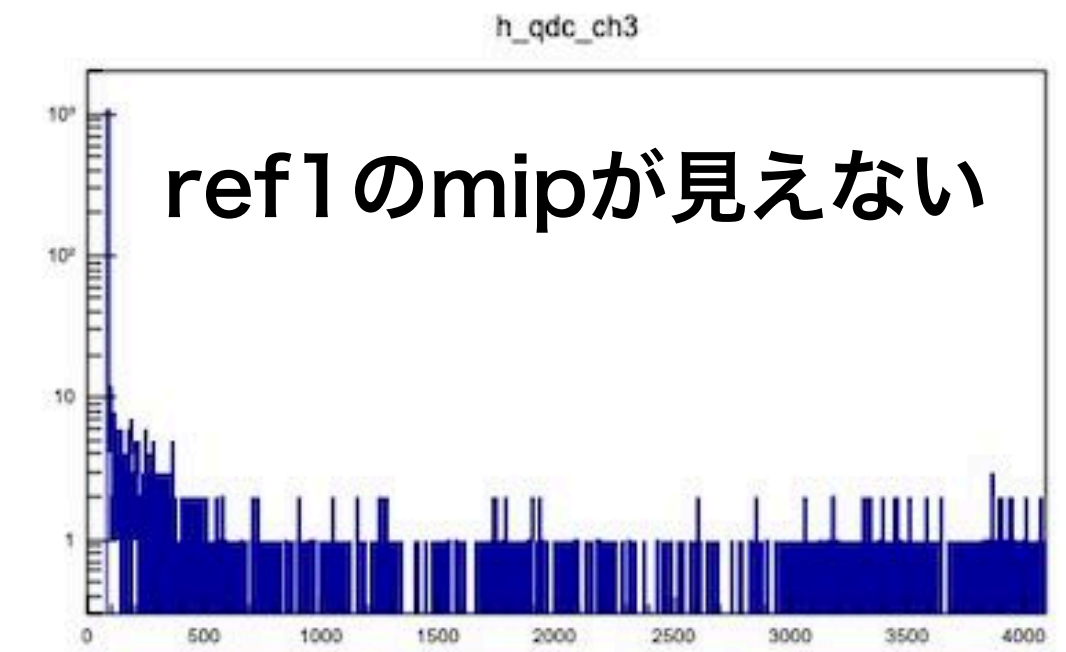
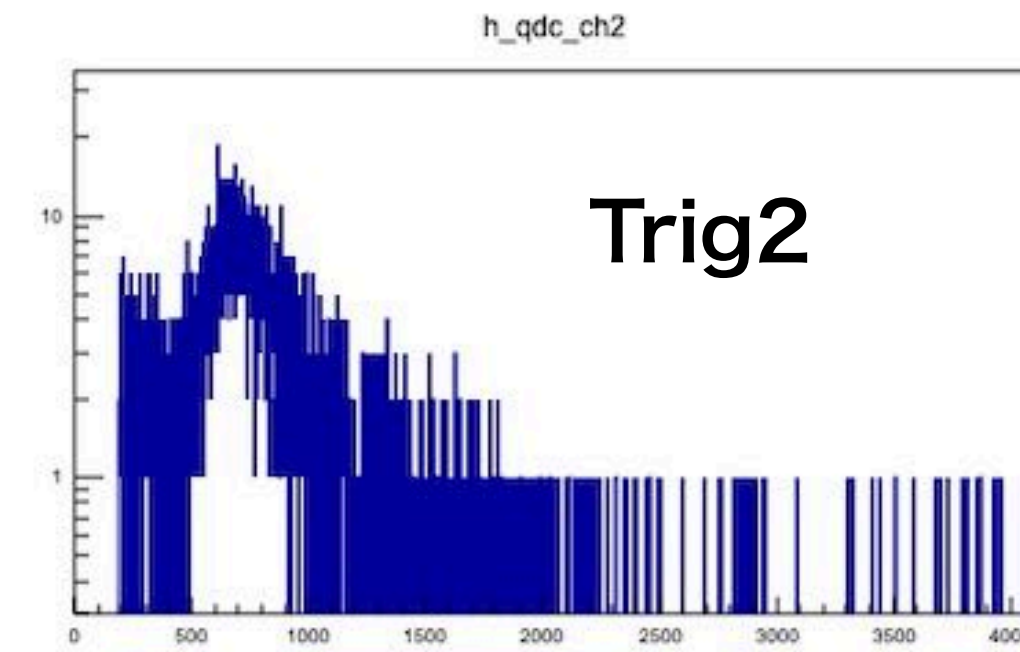
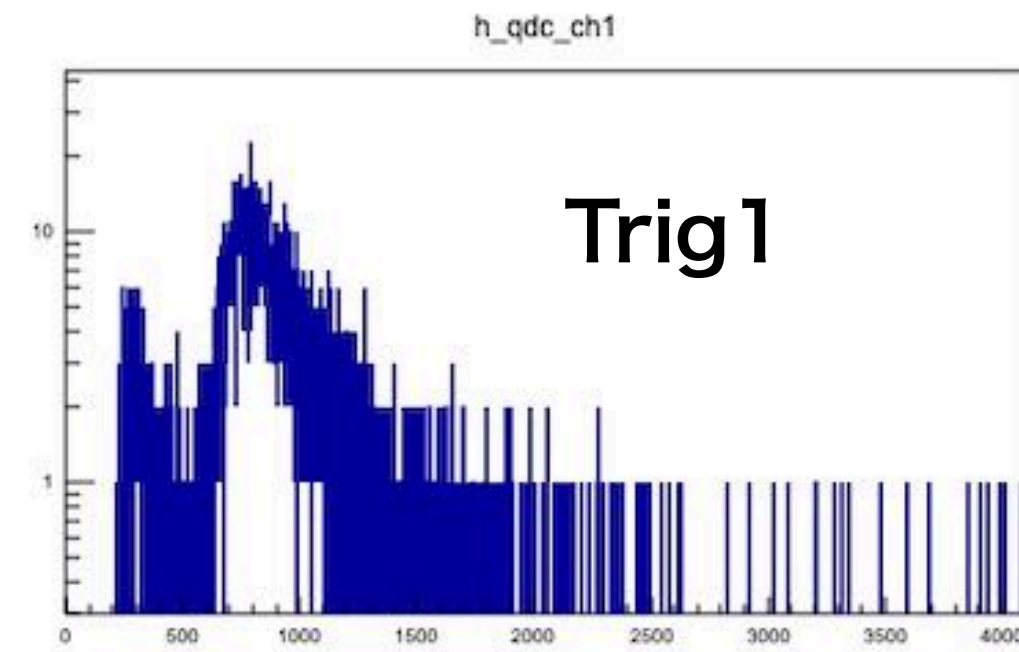
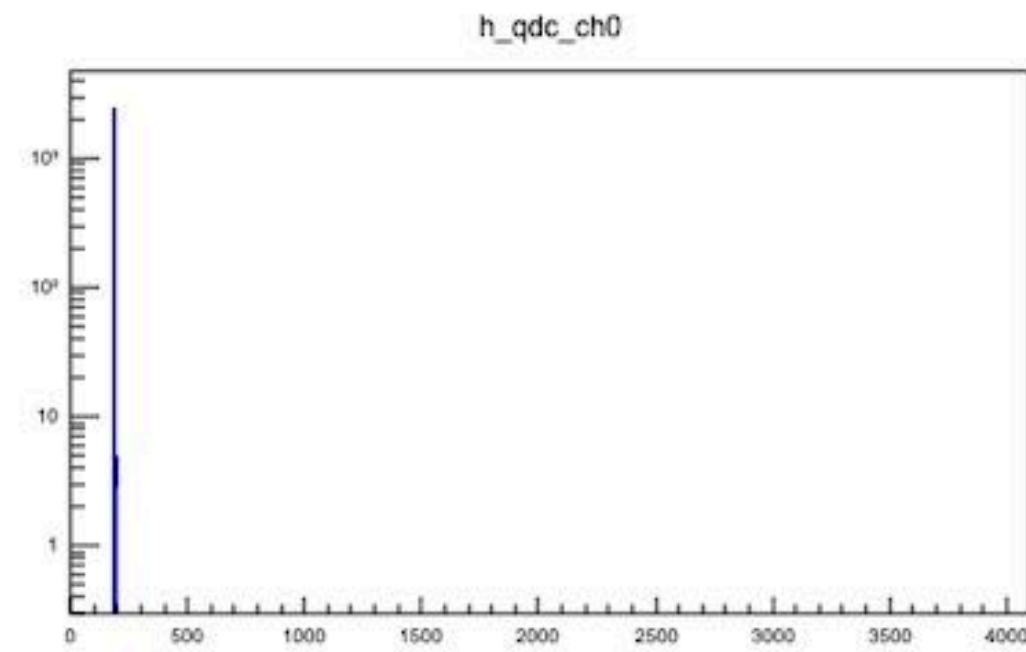


①

- 2ピーク問題はtrig条件で消えることがわかった。
- 各チャンネルのHV, thresholdを再調整。
(放電のひどい&TDC 2ピーク問題があった)ref1を交換。
(discr1 ch3 \longleftrightarrow ch5, ch4 \longleftrightarrow ch6 , NIM covのch1 \longleftrightarrow ch2)
—>run134 start

①run134 (running now)

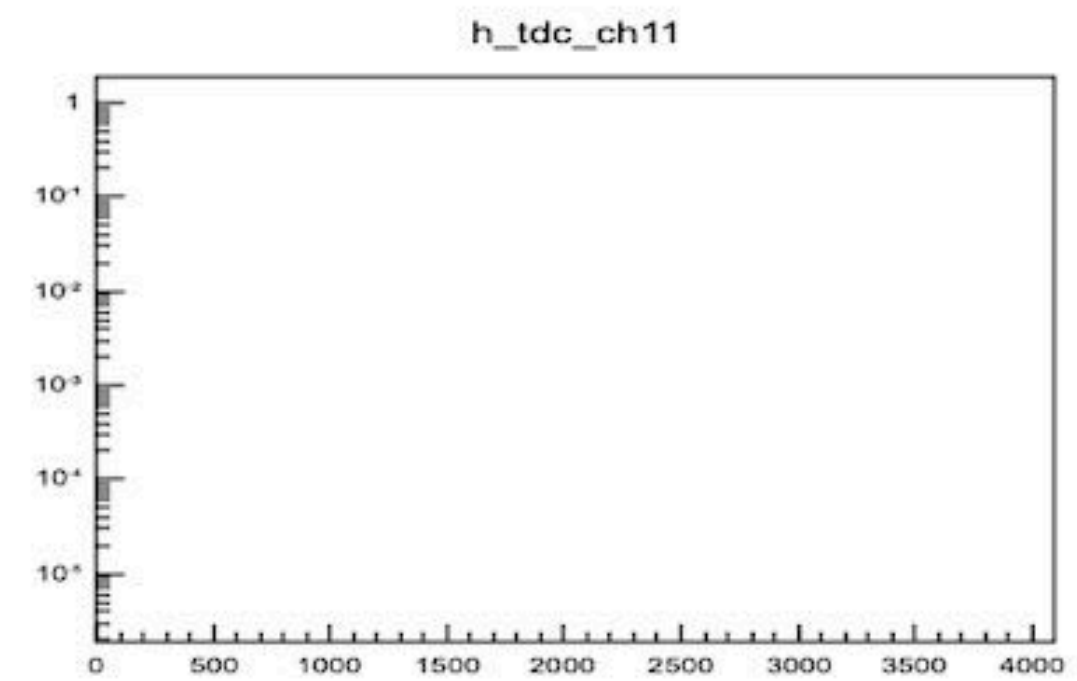
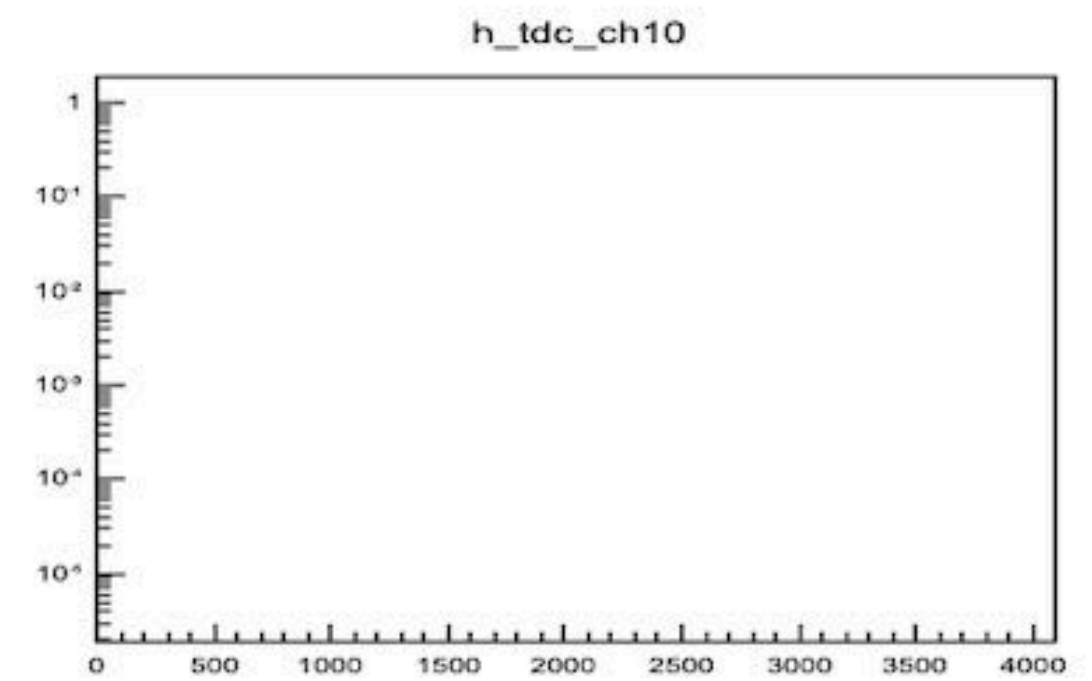
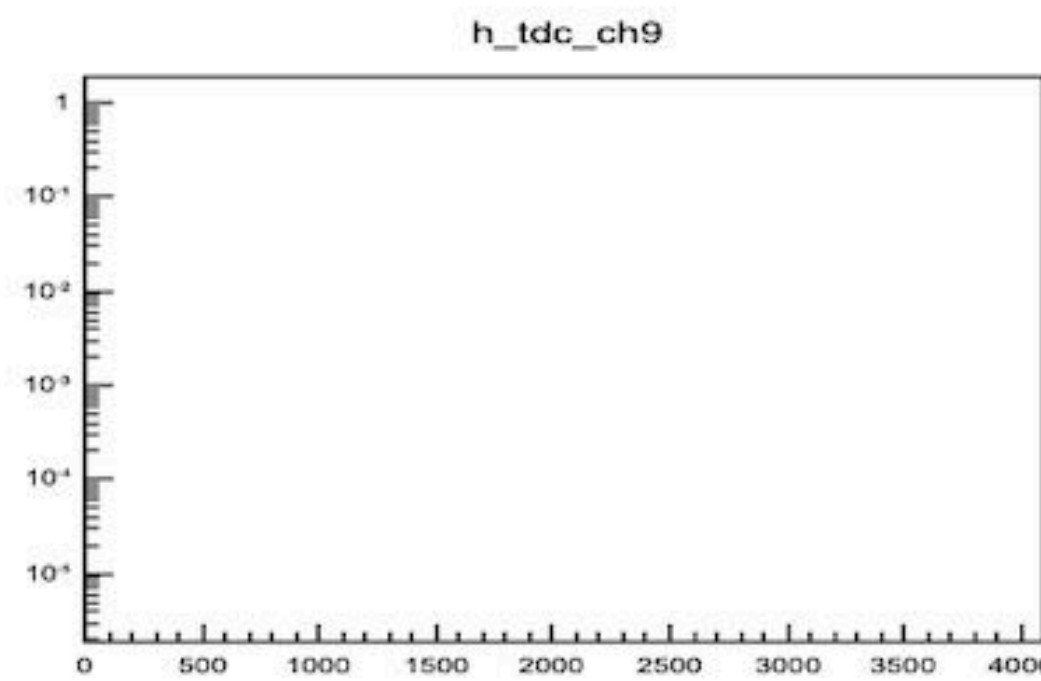
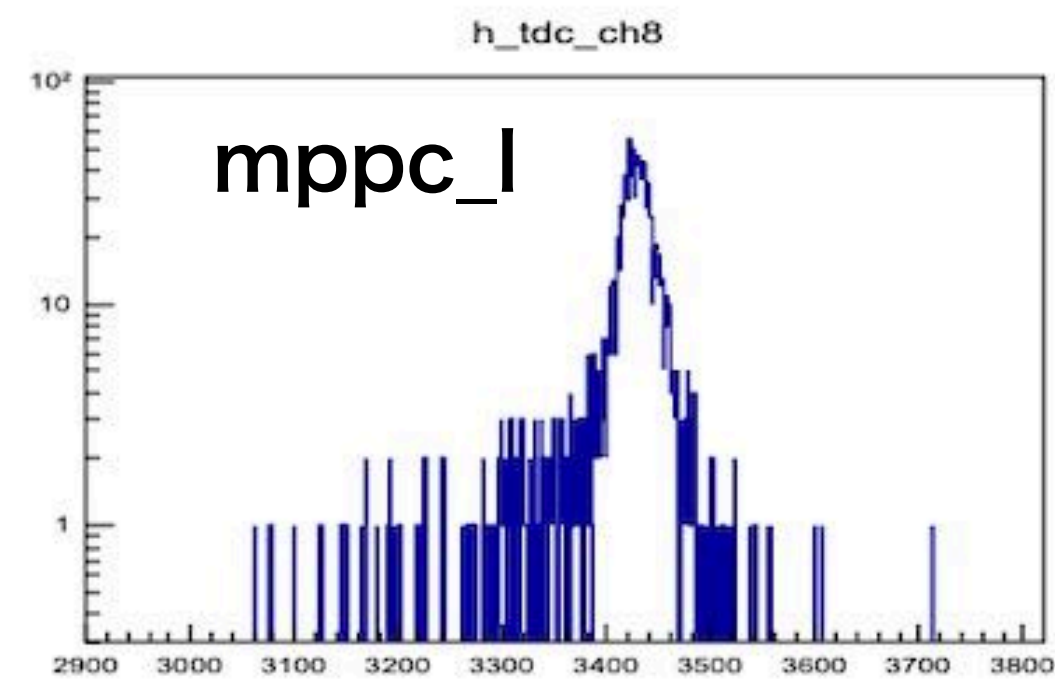
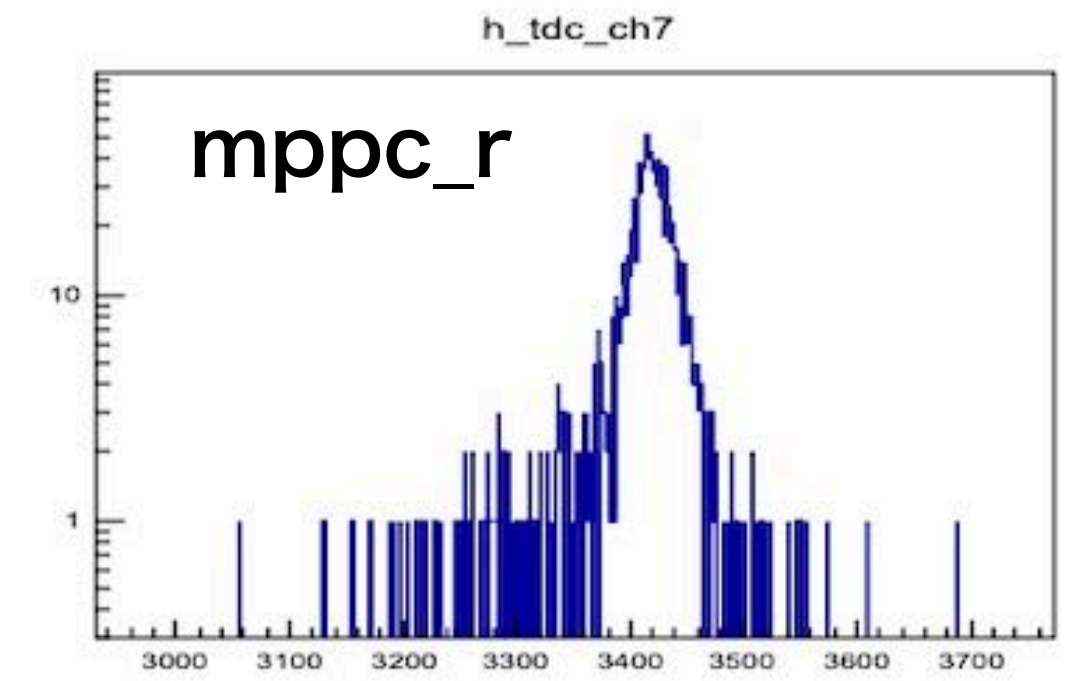
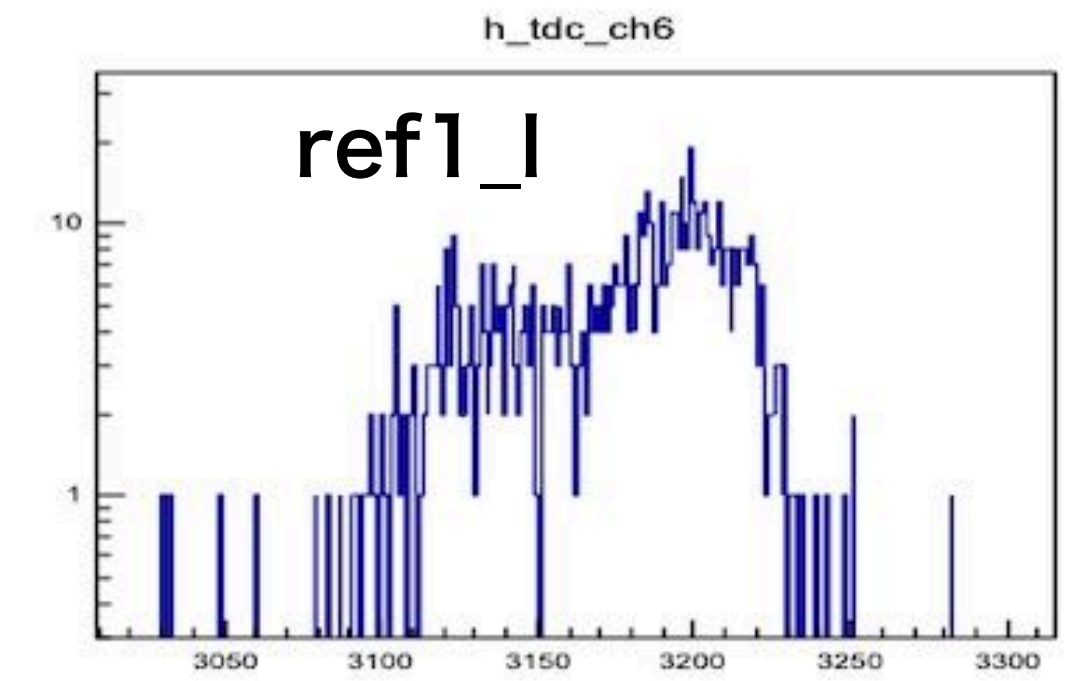
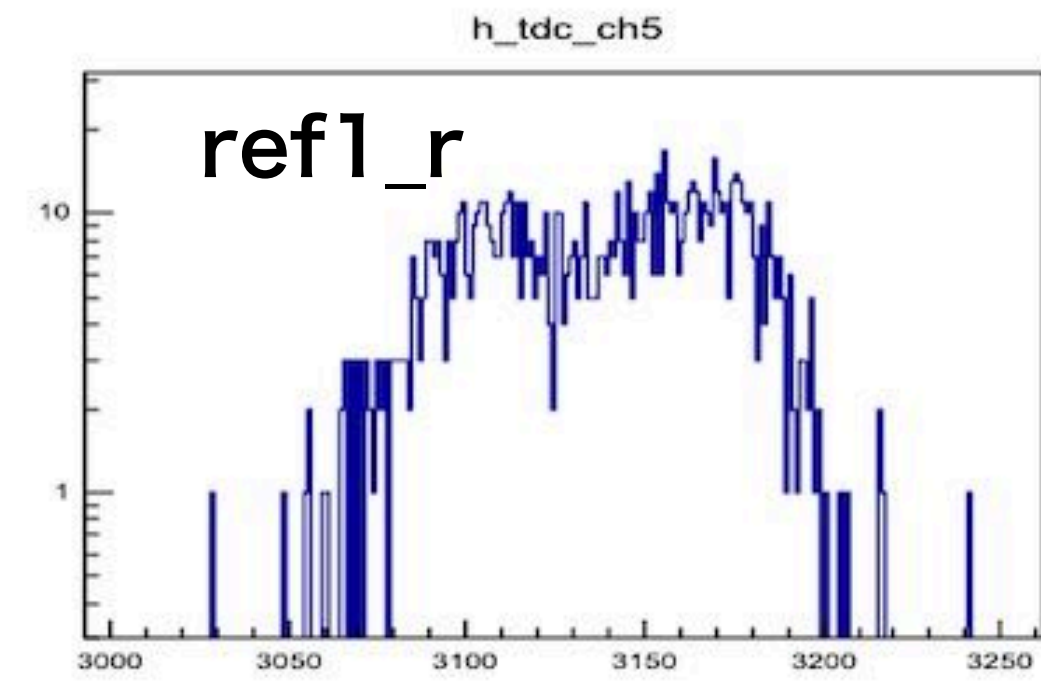
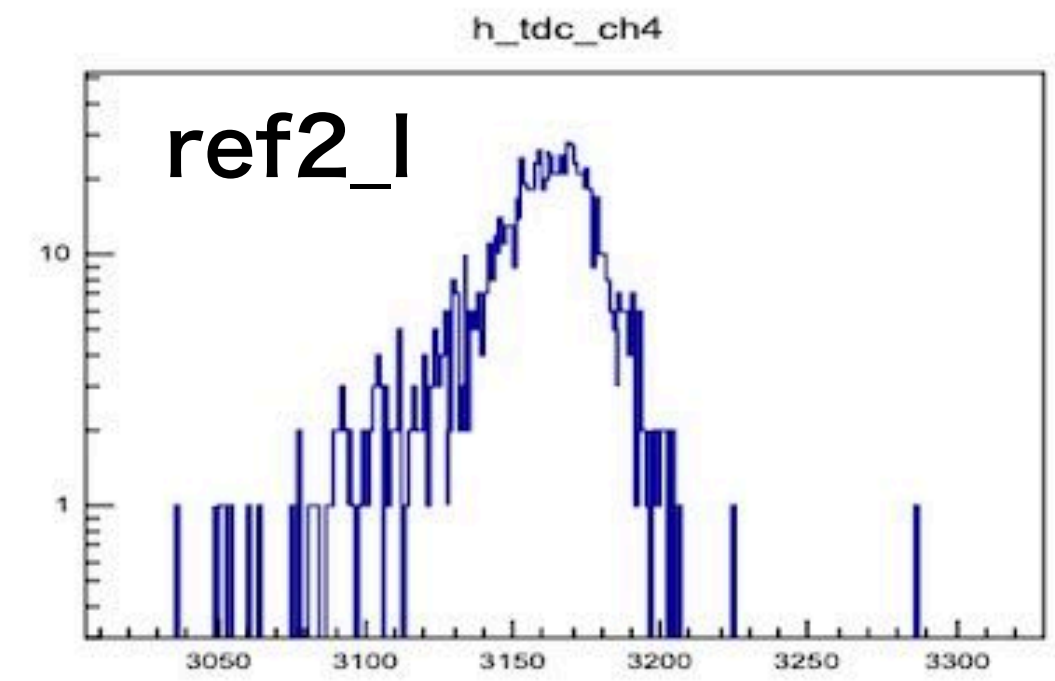
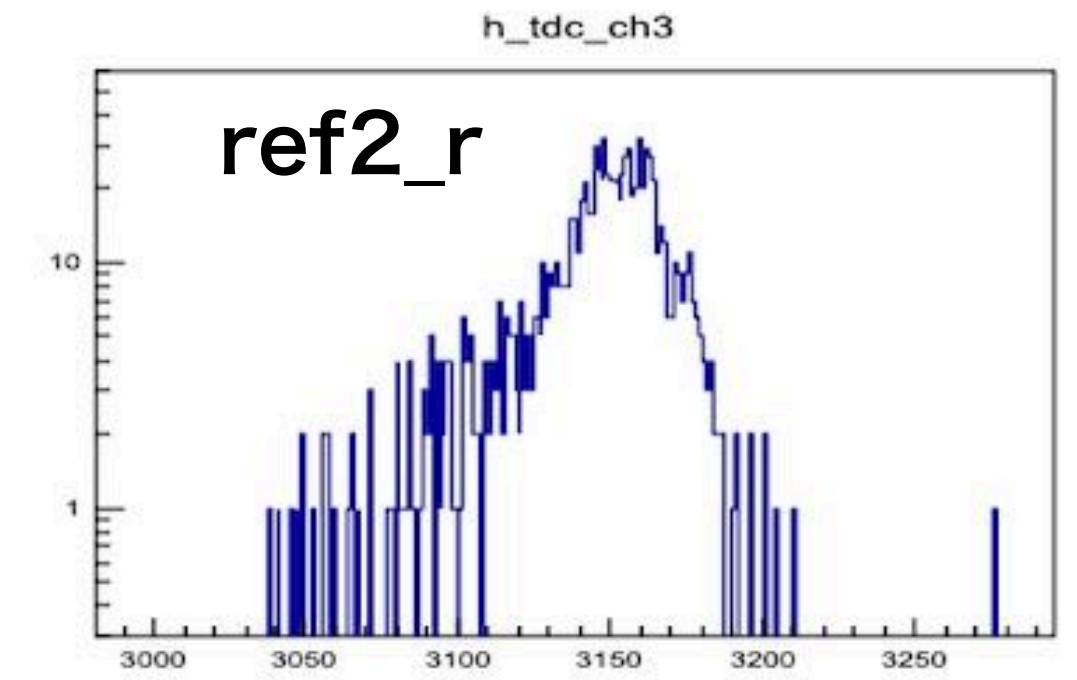
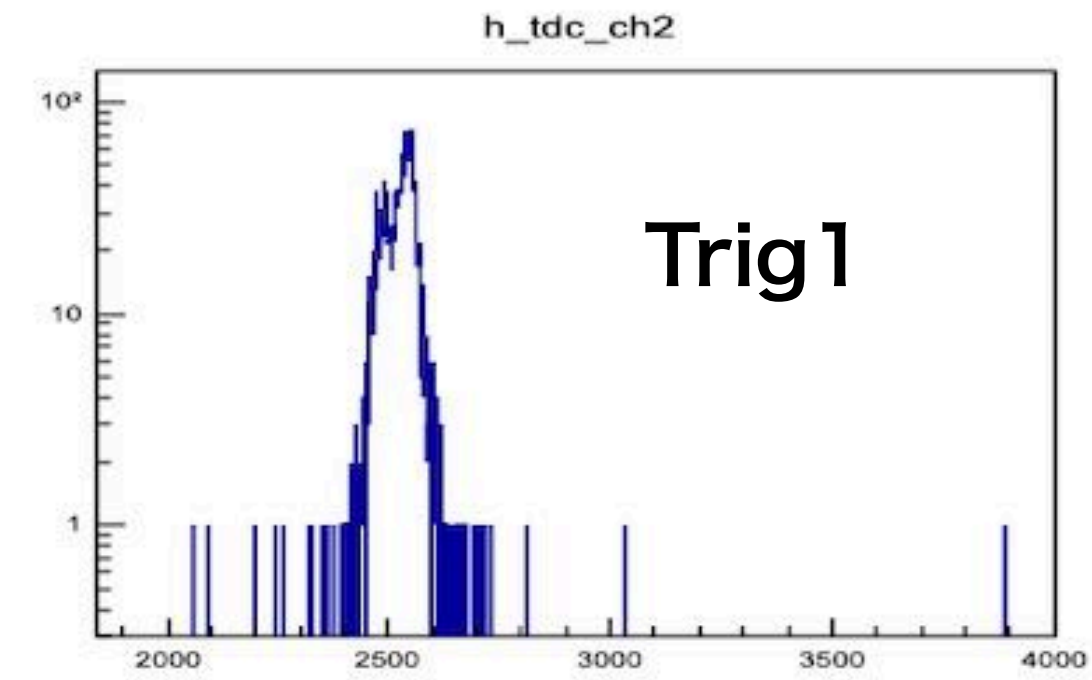
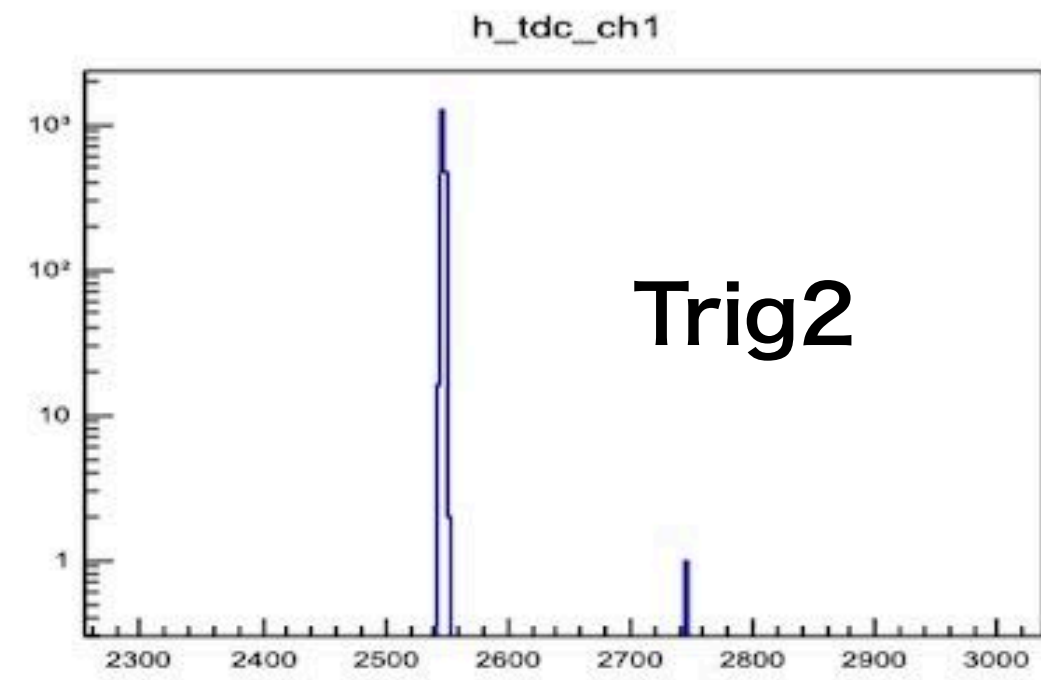
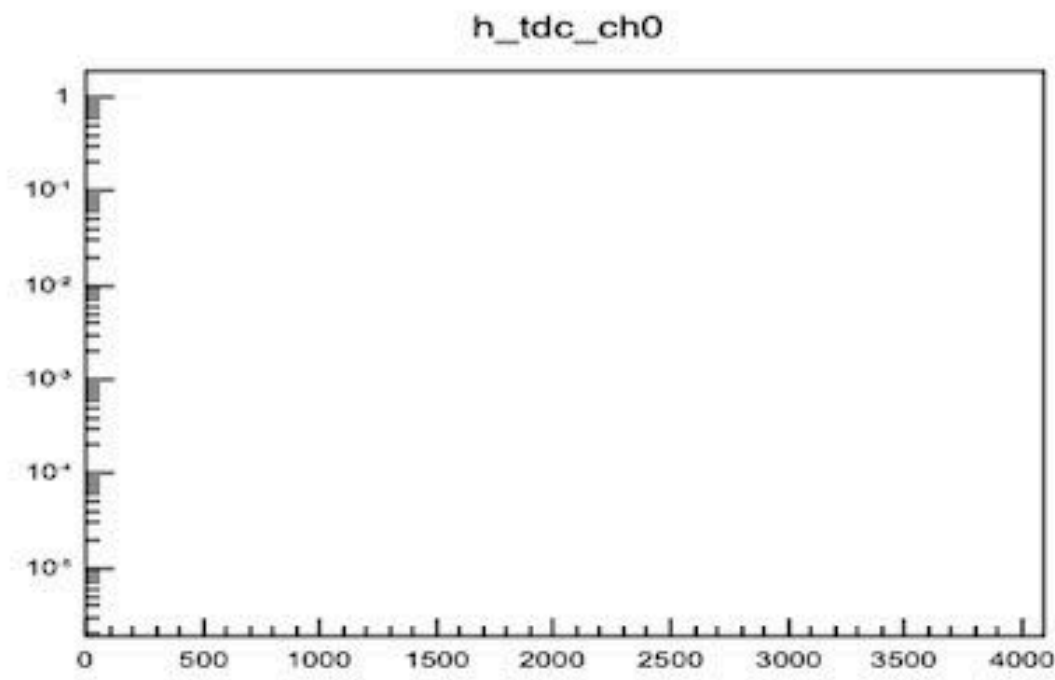
生ADC



①run134 (running now)

生TDC

やはりref1だけTDC 2ピーク、discrの問題ではないことがわかった。ケーブルの問題？。trig条件で消えるか？



今後について

- ・ 今日~明日 ①ある程度統計たまったらrun134から時間分解能を求める。
②スライドレールの錆落とし。型番確認、アルミフレーム注文。
③線源でCNCのAttenuation length 測定。
- ・ 来週(水木金) 大阪でSPADI-AのDAQ実践キャンプがあるので時間によってはmeeting欠席します。